

LiSH
TAKANAWA
GATEWAY
Link Scholars' Hub

2024.08



LiSH TAKANAWA
GATEWAY
Link Scholars' Hub

TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub

「高輪ゲートウェイリンクスカラーズハブ」のご案内

延床面積約845,000㎡のフィールド ここは未来への実験場

TAKANAWA GATEWAY CITY

山手線駅直結となるTAKANAWA GATEWAY CITYは、「Global Gateway」をコンセプトにもち、

東京国際空港やリニア中央新幹線にも好アクセス。

この街は、来街者約10万人を対象として、環境・モビリティ・ヘルスケアを重点テーマに新たなソリューションを生み出し、社会実装するための日本最大級*の実験場です。「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」は3つの建物内に設けられる、4つの施設で構成されています。



TAKANAWA GATEWAY STATION 高輪ゲートウェイ駅

未来の“駅”の在り方を体現する、多様な価値観を受け入れる「ヒト」起点の場所

「高輪ゲートウェイ駅」は、49年ぶりの山手線30番目の新駅として、2020年3月14日に開業しました。コンコースからは空の色や雲の流れ、さわやかな風を感じることができる開放的な空間です。新たに南改札が設置され、周辺には複数の店舗が開業するなど、賑わいをもたらします。



Station Plaza 駅前広場 (仮称)

高輪ゲートウェイ駅直結の約6,500㎡の広場。多様な人々の遊び場、そして憩いの場

1日約10万人の往来を見込む憩いの場が駅前に広がります。駅と街が連動したイベントや実験などが開催されます。



TAKANAWA GATEWAY Convention Center 高輪ゲートウェイ コンベンションセンター

(THE LINKPILLAR 1 SOUTH: 6F/B1F・B2F)

駅からはじまるMICE。駅直結型のMICE施設

約1,640㎡のコンベンションホールを核とした、全15室で構成されるMICE施設です。駅前広場でのイベントを織り交ぜた“街ごとMICE”の開催にも取り組みます。



The University of Tokyo GATEWAY Campus 東京大学 GATEWAY Campus

(THE LINKPILLAR 1 SOUTH: 9F)

日本で初めてプラネタリーヘルスをテーマにしたキャンパスが誕生

東京大学の新しいキャンパスが誕生し、「人・街・地球」の全てがバランスよく良好に保たれる未来のくらしづくりを目指す拠点となります。コラボレーションエリアとラボエリアを設け、東京大学の様々なキャンパス（本郷・弥生、駒場、柏、白金台など）と連携しながら、多様な研究室が集う学際的な場として、様々な企業・アクセラレーターとの協創を生み出します。



LINK Lounge リンクラウンジ

(THE LINKPILLAR 1 SOUTH: 8F THE LINKPILLAR 2: 7F)

健康に配慮したメニューを提供する「オフィスワーカー向け食堂」。企業間のコミュニケーションの場にも

アカデミアと連携し、オフィスワーカーの健康に配慮したメニューを提供するほか、常駐するコミュニティープロモーターの企画・運営による企業間コミュニケーションを創発するイベントやセミナーを開催します。



※対象人数が公表されているまちづくりの中で日本最大規模となります。(JR東日本調べ)

多様で先端的な知や技術をつなげ・かけあわせることで
新たなビジネス・文化を創造し、
世界中の社会課題解決・地球益の実現に挑戦します。

「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」の名称の由来

LiSH TAKANAWA
GATEWAY
Link Scholars' Hub

「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」は、多様で先端的な知や技術を持つ人(Scholars)をつなげ、かけあわせる(Link)ことで新たなビジネス・文化を創造することを目指し名称を決定しました。

※「LiSH」= Link Scholars' Hubの各語から頭文字をつなげた本施設の愛称です。

「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点とした「広域スタートアップエコシステム」

スタートアップをサポートする多様な人材や支援制度を揃え、相互に関連しながら活動することで、継続的にビジネスが生まれ成長し続ける「スタートアップエコシステム」を構築します。世界中の社会課題に対して多様で先端的な知とのコラボレーションの機会や、鉄道データを含む街のデータ基盤(都市OS)による分析、多様な資金サポートの提供により、ソリューションを生み出し、育て、社会実装までサポートします。



※JR東日本の駅数1,681駅(BRTを含む)、1日あたりの輸送人員約1,557万人(2024年4月1日時点)

3つの重点テーマ

環境

プラネタリーヘルスの実現

CO₂排出量「実質ゼロ」の環境先導型まちづくりを舞台に、廃棄物を資源として再利用するサーキュラーエコノミーなど人と地球に優しい未来のくらしづくりへの挑戦を可能にします。

モビリティ

人とロボットとの共生社会の実現

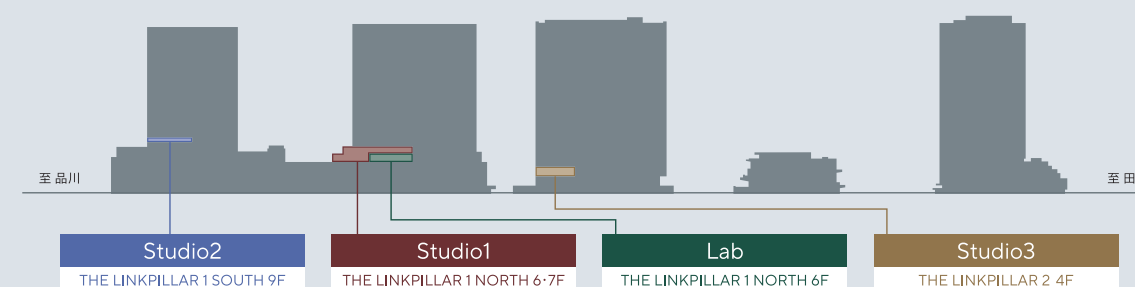
南北1kmを超えるデッキネットワークや駅前広場(仮称)、さらには建物も一体となって、人とロボットやモビリティとの共生に向けたサービス創造に取り組みます。

ヘルスケア

誰もが100年心豊かに生きられる社会の実現

「スマート健康ステーション®」とも連携しながら、アカデミアやスタートアップなどの知を掛け合わせ、PHR(パーソナルヘルスレコード)の活用によるヘルスケアサービスの創造を可能にします。

「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」を構成する4つの施設



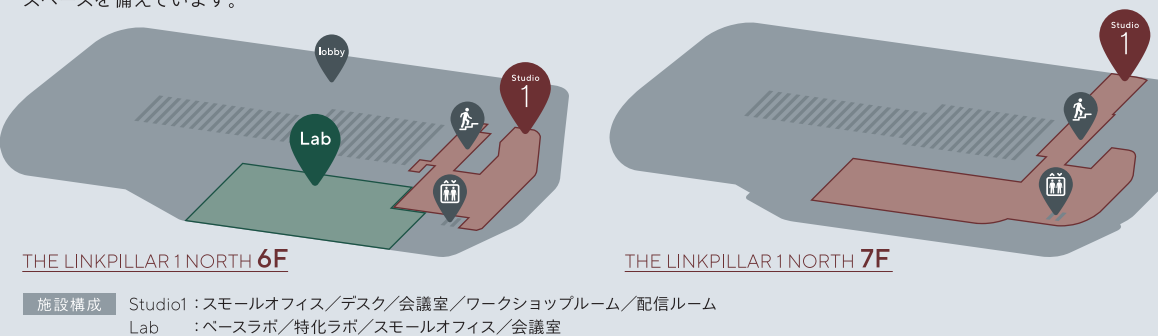
スタートアップエコシステムの核となる4つのビジネス創造施設です。大規模なウエットラボを備えることで、ディープテック領域の研究開発を支援するとともに、デスクやスモールオフィス、イベントが可能なスペースや会員企業の先進的なサービスを体験できる実証実験部屋などを用意しています。

Studio1

「Studio1」は、「THE LINKPILLAR 1 NORTH」6・7Fの2フロアに設けた大規模なスペースです。各種セミナーやプレゼンテーション、ワークショップ、イベント開催などにも対応できるスペースを備えています。

Lab

「Lab」は環境・ヘルスケアなどに関する基礎研究に必要な実験機器を設置しています。ディープテック系のスタートアップは会員になることで、初期投資を抑えて活動することが可能です。

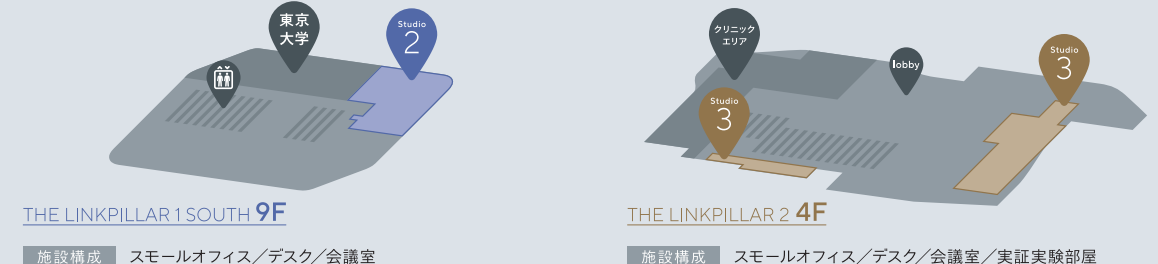


Studio2

「Studio2」は「THE LINKPILLAR 1 SOUTH」9Fにあり、東京大学 GATEWAY Campusに隣接。個室、会議室をはじめ多様なワークスペースがあります。

Studio3

「Studio3」は「THE LINKPILLAR 2」4Fで、2つのエリアがある施設。この実証実験部屋では、会員企業の先進的なサービスを体験することができます。



ソフトサービス

イベント

スタートアップによるビッチイベントや事業会社による交流会、アカデミアによるワークショップなどの各種会員限定のイベントにご参加いただけます。

メンタリング

アカデミア、弁理士や弁護士、税理士などの専門家による支援が受けられます。

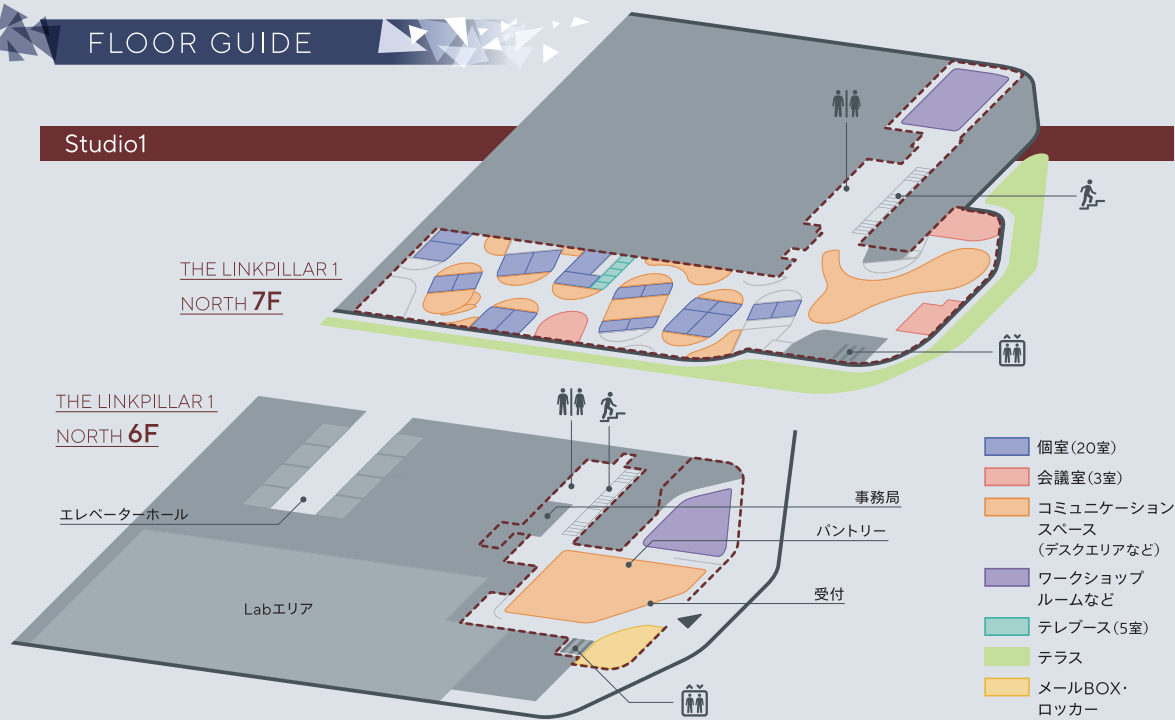
ネットワーキング

施設に常駐するコミュニケーターが国内外のスタートアップや事業会社、自治体、アカデミアなど、様々なプレイヤーをブリッジし、会員同士のネットワーキングを促進します。

※一部有料サービスとして、ハンズオン支援型のプログラムなどがあります。

FLOOR GUIDE

Studio1



コミュニケーションスペース



コミュニケーションスペース



コミュニケーションスペース



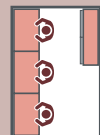
ワークショップルーム



個室一覧

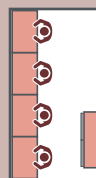
3デスク

広さ: 約7㎡
(10室)
設備: デスク
チェア
デスクライト
シェルフなど



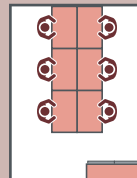
4デスク

広さ: 約8~10㎡
(2室)
設備: デスク
チェア
デスクライト
シェルフなど



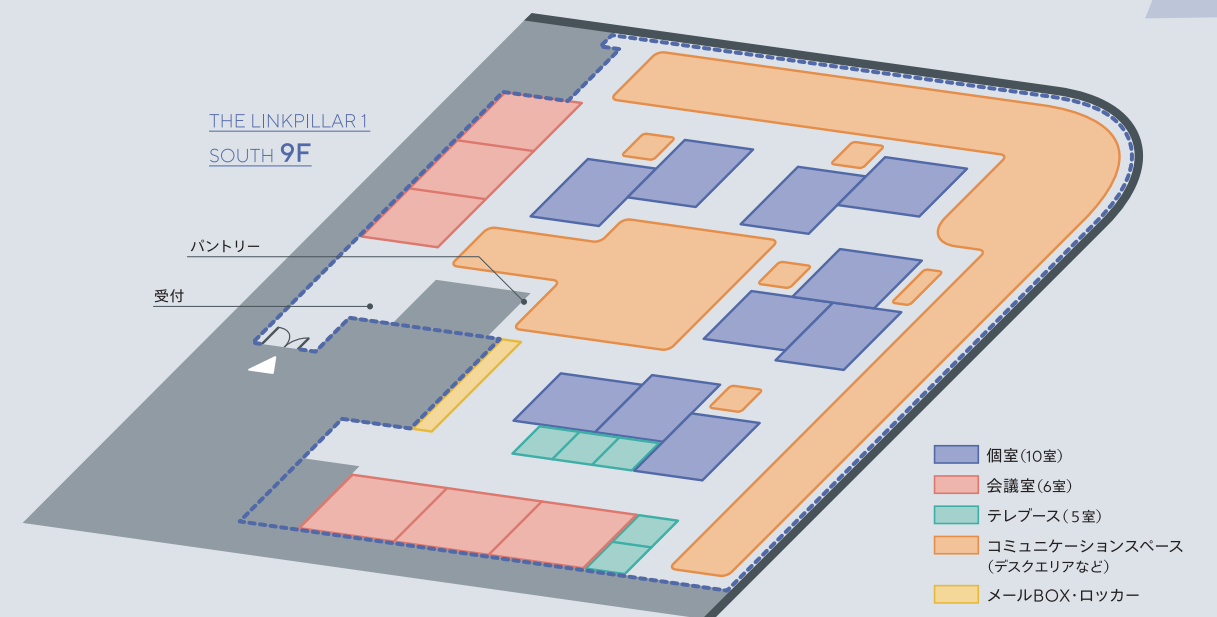
6デスク

広さ: 約12~14㎡
(8室)
設備: デスク
チェア
デスクライト
シェルフなど



FLOOR GUIDE

Studio2



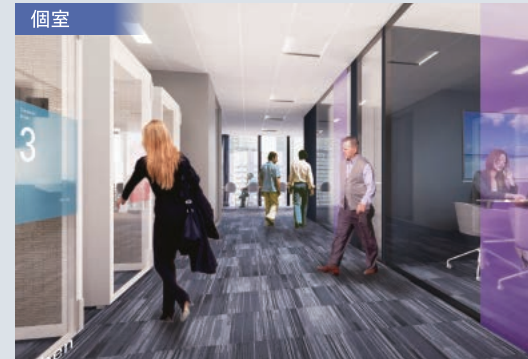
受付



コミュニケーションスペース



個室



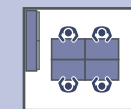
コミュニケーションスペース



個室一覧

4デスク

広さ: 約10㎡ (10室)
設備: デスク チェア デスクライト シェルフなど

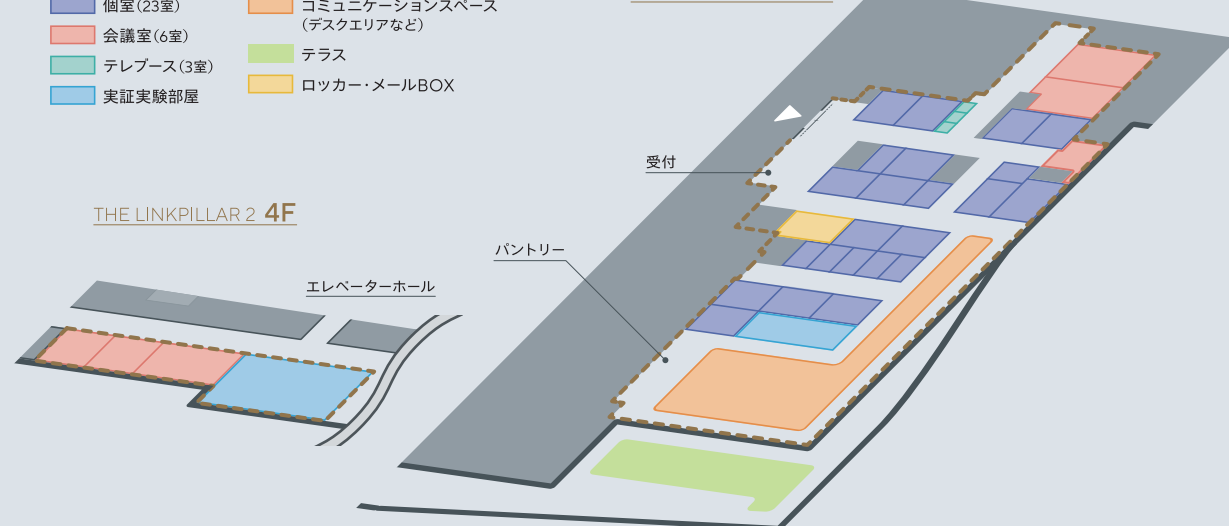


FLOOR GUIDE

Studio3

- 個室(23室)
- 会議室(6室)
- テレブース(3室)
- 実証実験部屋
- コミュニケーションスペース
(デスクエリアなど)
- テラス
- ロッカー・メールBOX

THE LINKPILLAR 2 4F



個室一覧

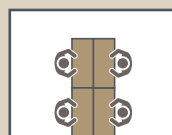
2デスク

広さ: 約5㎡
(8室)
設備: デスク チェア
デスクライト



4デスク

広さ: 約10~13㎡
(15室)
設備: デスク チェア
デスクライト

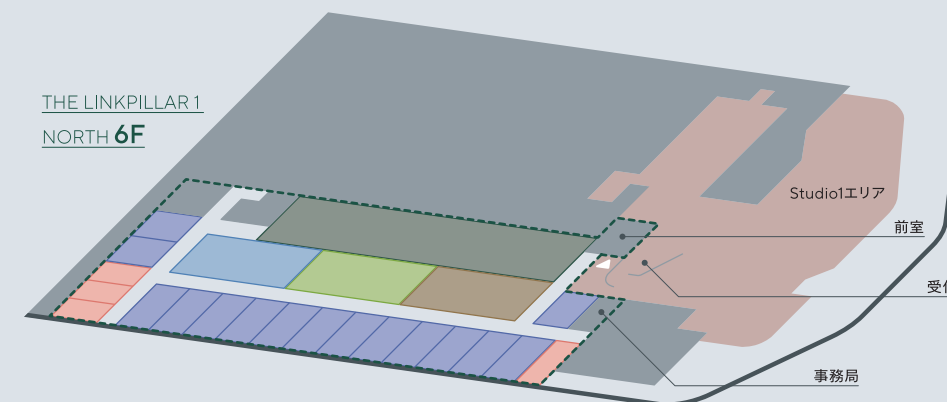


FLOOR GUIDE

Lab

THE LINKPILLAR 1 NORTH 6F

- 個室(15室)
- 会議室(4室)
- ベースラボ
- 水圏ラボ
- 植物ラボ
- 微生物ラボ



LiSH Labの特徴

1. 微生物、植物、水棲生物(河川・海)の研究が可能です。
2. BSL2/P2に対応し、汎用的な装置を共用機器として提供します。
3. 施設に常駐しているコミュニケーターによる事業会社やアカデミアなどとの連携創出、実証実験のサポート、資金調達や知財戦略などの専門家との接続支援などを提供します。

目的に合わせた4つのラボ

ベースラボ

測定、観察、試薬調製など基本的な実験を行うラボ。顕微鏡、解析装置を設置。

- ベンチ20台
- 設備: 顕微鏡、イメージング装置、リアルタイムPCR、CO₂インキュベーターなど

水圏ラボ

河川、浅岸域などの水域に生息している生物の実験を行う特化ラボ。

- ベンチ4台
- 設備: 小型水槽、中型水槽、人工海水調製設備など

植物ラボ

植物栽培、藻類培養など、植物・藻類関係の実験を行う特化ラボ。

- ベンチ4台
- 設備: 人工気象器、培養棚、藻類培養用シェーカーなど

微生物ラボ

微生物の大量培養、発酵などに関する微生物実験を行う特化ラボ。

- ベンチ4台
- 設備: 大量培養用シェーカー、大型過心分離機、低温インキュベーターなど

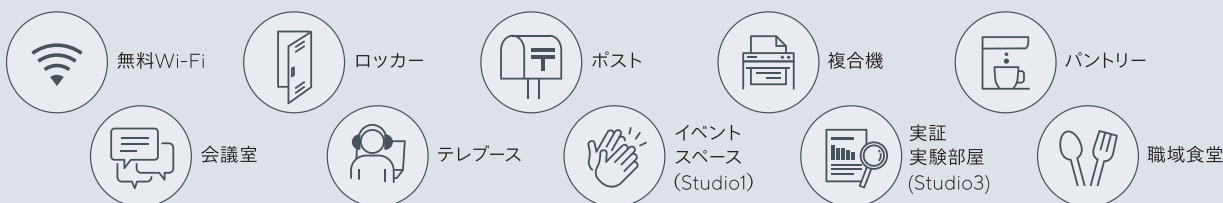
- 各ラボに-80℃、-30℃のフリーザー、4℃ショーケース、インキュベーター、クリーンベンチ、安全キャビネット、オートクレーブを完備
- 試薬管理システム、機器予約システムの導入によるスムーズなラボ運営を提供
- セキュリティ完備
- 4つのラボ以外に個室を15室用意
- 個室への機器の持ち込み可能

施設概要と会員の種類

個室会員	Studio1	Studio2	Studio3
利用可能時間	24h	8:00～21:00	8:00～21:00
受付時間	10:00～18:00		
Studio全体の広さ	約2,300㎡	約670㎡	約750㎡
利用可能人数	3名～6名	4名	2名～4名
会議室	8名部屋:3室	6～8名部屋:6室	4～8名部屋:6室
個室の広さ	3名部屋:10室 4名部屋:2室 6名部屋:8室	4名部屋:10室	2名部屋:8室 4名部屋:15室

デスク会員	Studio1	Studio2	Studio3
利用可能時間	24h	8:00～21:00	8:00～21:00
受付時間	10:00～18:00		
デスクの数	約90席	約50席	約20席

その他会員が利用可能な施設など



※一部有料のものあり

	Lab				
	シェアラボ				個室
	ベース	特化ラボ			
		水圏	植物	微生物	
利用可能時間	24h				
受付時間	10：00～18：00				
広さ	約240㎡	約80㎡	約80㎡	約80㎡	約17～26㎡(15室)
会議室	6～8名部屋：4室				
ベンチの数	20台	4台	4台	4台	-

FAQ

Q. 法人名義ではなく、個人名義でも契約はできますか。

A. ご契約いただけます。

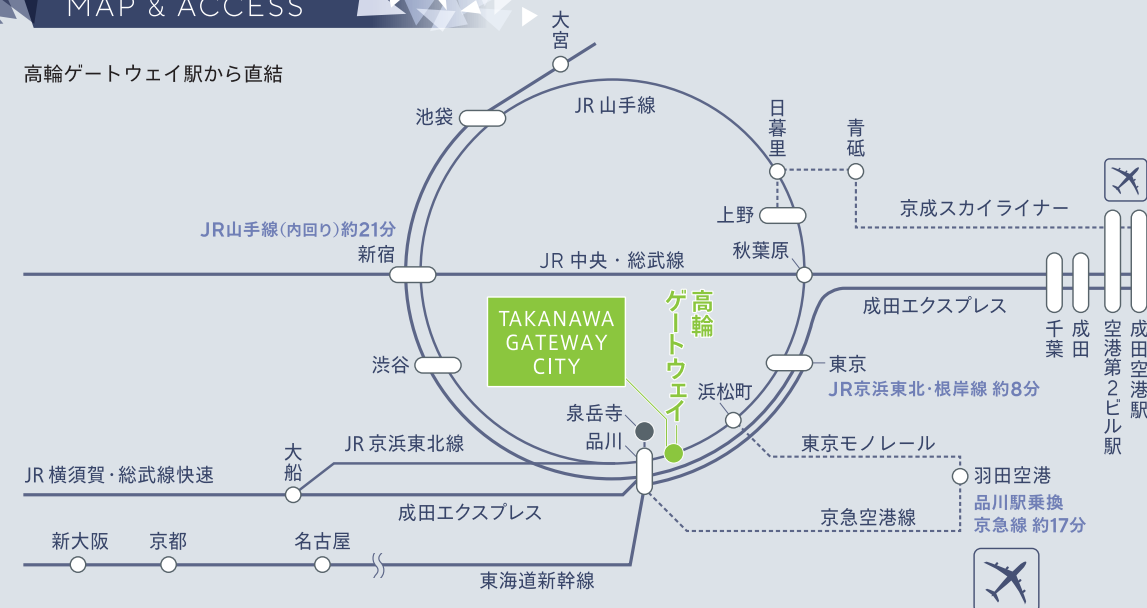
Q. ドロップインの利用はできますか。

A. 会員の方のみがご利用になれますが、一部イベントには非会員の方もご参加いただけます。

Q. 個室の利用形態を教えてください。

A. 定期建物賃貸借契約を予定しております。

MAP & ACCESS



※掲載の路線図は各路線を概念的に表現したものです。

TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub

- Studio1 THE LINKPILLAR 1 NORTH 6・7階
- Lab THE LINKPILLAR 1 NORTH 6階
- Studio2 THE LINKPILLAR 1 SOUTH 9階
- Studio3 THE LINKPILLAR 2 4階

■ 休館日 ビル休館日に準ずる

■ 問い合わせ先

TAKANAWA GATEWAY
Link Scholars' Hub事務局 (仮)
Email: takanawagateway-lish@jreast.co.jp

※見学希望・入居検討以外のお問い合わせはJR東日本お問い合わせセンター/ご意見承りセンターよりお願いいたします。



— LiSH HP —

※各種情報は2024年8月現在の情報となります。